

マテリアルサイエンス系セミナー

テーマ

「シクロデキストリンとサクランの 医薬品原薬への応用可能性」

Potential Application of Cyclodextrins and Sacran
as Active Pharmaceutical Ingredients

講演者: 熊本大学大学院生命科学研究部 製剤設計学分野
教授 有馬 英俊 氏

Professor, Hidetoshi Arima, Department of Physical Pharmaceutics,
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Kumamoto University

日時: 平成 31 年 2 月 18 日(月) 15:30~17:30

場所: 知識科学系講義棟 2 階 中講義室

講演要旨:

環状オリゴ糖であるシクロデキストリンは医薬品、食品、化粧品、日用品等に広く応用されているが、医薬品分野では、シクロデキストリンは製剤添加剤として多用されてきた。しかし、シクロデキストリンを有効成分とする筋弛緩回復薬プリディオンの登場により、医薬品原薬としての可能性が見いだされた。スイゼンジノリ多糖体であるサクランは、超巨大分子であることに由来して極めて高い保水力を有することから、化粧品素材としての実際応用されている。一方、ヘパリン、コンドロイチン硫酸、ヘパラン硫酸、フコイタンなどの硫酸化多糖は、生体に対して薬理活性を有することが知られている。そこで我々は、シクロデキストリンおよびサクランの医薬品原薬としての可能性について検討を行ってきた。今回の講演では、それらの可能性に関する最近の知見を紹介する。

講演者略歴:

1991年3月 熊本大学大学院薬学研究科博士後期課程 修了(薬学博士)
1991年4月 エーザイ(株) 筑波研究所
1993年10月 東京薬科大学
1998年7月 熊本大学薬学部
2000年12月 南カリフォルニア大学客員研究員
2008年5月 熊本大学大学院医学薬学研究部 製剤設計学分野 教授
2010年1月 熊本大学大学院生命科学研究部 製剤設計学分野 教授
現在に至る

参加申込・予約は不要です。直接会場にお越しください。

お問い合わせ先: 共通事務管理課 共通事務第三係 (E-mail: ms-secr)